

2026年7月7日（火）

美術館は休館中。まちなかで活動中。

姫路市立美術館 アウトリーチプログラム（8月～11月）のお知らせ



本事業では、姫路城下を舞台に、「まち歩き」「講座」「庭園イベント」「ワークショップ」の4ジャンルからなる全12プログラムを、2026年8月から11月にかけて開催します。休館中の美術館が館外へ活動の場を広げ、姫路城下の各所を舞台に、市民や来街者がアートや文化に親しむ機会を創出します。

PRESS RELEASE

姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art

報道関係者各位

平素は、姫路市立美術館の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当館は、空調設備等の改修工事に伴い、2026年4月1日（水）から2027年12月末日まで休館を予定しております。この休館期間を、美術館の活動を館外へ届ける「アウトリーチ」の好機と捉え、姫路市内外の皆様がそれぞれの関心やライフステージに応じて美術と出会い、親しむことができるよう、子育て世代に向けた参加型イベントやワークショップ、幅広い世代の方々にご参加いただける無料公開講座など全12プログラムを、2026年8月から11月にかけて、庭園をはじめ姫路城下の各所で実施いたします。

「休館中であっても、美術館が地域に開かれた存在であり続けたい」という思いから、イベントの開催にあわせて、会場情報や姫路城・美術館周辺の見どころを紹介するアートマップも制作いたしました。

つきましては、本取り組みをぜひご高覧いただき、貴媒体にてご紹介賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ

姫路市立美術館 担当：米田、谷口

画像貸出担当：武田、福岡

Tel：079-222-2288/ Fax：079-222-2290

E-mail：gakugei@city.himeji.lg.jp

※全イベントのお問い合わせは姫路市立美術館となります。各会場ではございませんのでご注意ください。

アウトリーチプログラム（8月～11月）について

1. 姫路ならではの文化資源、美術館のコレクションの魅力に触れるプログラム満載

本事業では、姫路ならではの文化資源と当館の所蔵作品を生かし、美術、建築、工芸、ファッション、映画など多様な文化領域に広がるプログラムを実施します。

「まち歩き」では、明珍工房での鍛冶体験や、黒川紀章・丹下健三・安藤忠雄の建築をめぐるツアーなど、姫路の歴史や文化資源に着目し、改めて「姫路」というまちに息づく文化の魅力を再発見し、地域への愛着を深めるきっかけとします。

「講座」では、現在、絵画、彫刻、写真、ポスター、工芸、刀剣など多様な館蔵品約5000点中から当館学芸員がそれぞれの専門分野に根差したテーマで館蔵品への「愛」を語ります。また、2026年は印象派の巨匠クロード・モネの没後100年の年であり、これを記念し、調査研究プロジェクトの一環として特別講演会を実施するほか、姫路ゆかりの世界的デザイナー・高田賢三に関連した公開アーカイブ型プログラムを各分野第一線で活躍する専門家を招聘して開催いたします。

「庭園イベント」では、休館中も開放している美術館の庭園を活用して、映画の上映会を行います。姫路市立美術館は2024年11月にポーランドの日本美術・技術博物館マンガ（以下、マンガ館）と連携協定を締結し、2025年度にはポーランド映画の巨匠にして、マンガ館の創設者でもあるアンジェイ・ワイダの作品・資料を受贈いたしました。2026年は奇しくもワイダ監督の生誕100年にあたります。それを記念し、監督の代表作『灰とダイヤモンド』の映画上映会を休館中の庭園で行い、映画芸術に親しんでいただく機会を設けます。

2. 姫路城下の文化施設・商店街・民間施設と連携し、幅広い世代の方々対象のワークショップを開催します

12プログラムでは姫路文学館、兵庫県立歴史博物館をはじめとする姫路城下の周辺文化施設との連携に加え、商店街や駅前のMONZENなど民間施設も会場として活用します。商店街と連携した子育て世代向けのイベントでは、地元作家の立花江津子氏のステインドグラスのガラスを用いたワークショップを開催。文学館ではブックカバーや展覧会のピクトサイン、小学校高学年以上を対象にランプシェードをデザインするワークショップを行うなど、美術館周辺の施設や地域の方々の協力を得ながら、休館中だからこそ実現できる、まちに開かれたプログラムを展開します。美術に詳しい方はもちろん、普段美術館を訪れる機会の少ない方にも、気軽にアートと出会っていただけるプログラムを用意しました。

3. イベント後も楽しめる「まち歩きアートマップ」

イベント情報に加え、姫路城をはじめとする美術館周辺の見どころ、芸術や文化を感じられるスポットを紹介するアートマップを制作します。イベント参加だけでなく、その後のまち歩きにも活用いただき、姫路城下でアートに出会うきっかけを広げます。

【各イベントの申込方法】※庭園イベントはのぞく、9.モザイクアートは申込フォームにて先着順のみ

・姫路市立美術館 HP のイベント欄より申込フォームからお申し込みください。

・はがきの場合、申込は原則として1人につき1枚の通常はがきで郵送してください。ただし、親子・家族・介助者同伴など、同一グループで参加者を希望する場合は、代表者がはがき1枚に同伴者全員の情報を記入して申し込むことができます（応募締切日の消印有効）

□表面：〒670-0012 姫路市本町 68 番地 25

姫路市立美術館「アウトリーチプログラム（8月～11月）」係まで

■裏面：参加希望のイベント名と日付/氏名/住所/年齢/連絡の取れる電話番号



申込フォーム

申し込み結果はイベントの2週間前ほどにメールもしくは郵送でお知らせいたします。

イベント情報

まち歩き

学芸員の案内で歩きながら、普段は出会えない人や技、建築や風景に秘められた物語に触れる特別な体験です。第53代明珍家当主・明珍宗敬^{みょうちんむねたか}氏との交流、市内3つの文化施設の学芸員によるリレー解説、美術館のコレクションを手がかりに姫路の歴史を読み解くイベントなど、このプログラムならではの機会をとおして、まちに息づく文化の魅力を再発見します。

1. 明珍鍛冶場で匠の技に触れよう

第53代明珍家当主・明珍宗敬^{みょうちんむねたか}氏の鍛冶場を訪ね、超絶技巧の職人技を目の当たりにするとともに、簡単な鍛冶体験ができます。また、明珍鍛冶場に至る野里の道のりでは、国登録有形文化財の町家なども紹介します。

日時：① 9月26日(土) 13:30~15:30

② 10月24日(土) 13:30~15:30

コース：姫路市立美術館→野里地区→明珍鍛冶場

講師：明珍宗敬^{みょうちんむねたか}氏、二宮洋輔(当館学芸員)

参加費：無料

定員：各回10名 **※応募締切：①9月12日(土)、② 10月10日(土)**



第53代明珍家当主 明珍宗敬 ©明珍本舗

【講師紹介】

第53代明珍家当主・明珍宗敬^{みょうちんむねたか}

1976年、姫路生まれ。1998年から52代明珍宗理に師事。

2021年、53代明珍宗敬^{みょうちんむねたか}を襲名。

2. ミュージアム建築さんぽ

姫路市立美術館(国登録有形文化財)、扇観亭(黒川紀章建築)、兵庫県立歴史博物館(丹下健三建築)、姫路文学館(安藤忠雄建築+国登録有形文化財・望景亭)を巡る建築ツアー。各館の学芸員が、それぞれの建築の見どころや魅力を解説します。

日時：10月10日(土) 13:00~17:00

コース：姫路文学館→扇観亭→姫路市立美術館→兵庫県立歴史博物館

講師：各館学芸員

参加費：無料

定員：15名 **※応募締切：9月26日(土)**



兵庫県立歴史博物館外観(設計：丹下健三)

提供：兵庫県立歴史博物館



姫路文学館外観(設計：安藤忠雄)

提供：姫路文学館

3. 描かれた場所を訪れてみよう

姫路市立美術館所蔵の作品の中から現在その場所がどうなっているか絵と比べてみるツアー。美術館に集合してから、各所を訪れながら作品の魅力や描かれた場所について解説します。

日時：10月17日(土) 10:00~12:00

コース：姫路市立美術館→市民会館前→姫路駅→姫路城周辺

講師：高瀬晴之(当館学芸員)

参加費：無料

定員：15名 **※応募締切：10月3日(土)**



内海敏夫《2号国道消えた町並み》1982年

講座

姫路市立美術館の所蔵作品は、現在約 5000 点にのぼり、絵画、彫刻、写真、デザイン、刀剣など、多岐にわたる分野のコレクションを形成してきました。本プログラムでは、当館学芸員が専門分野の所蔵作品の魅力や展覧会にまつわるエピソードを紹介する講座を開催します。また、各分野の専門家を講師に迎え、作品に秘められた知られざる物語をお話しいたします。多彩なコレクションに親しみながら、その魅力を再発見し、あなただけの「推し」作品を見つけてみませんか。

4. 美術館、まちへ出る一学芸員、コレクションへの愛を語る

姫路市立美術館は 1987 年 4 月 1 日に「市民の美術文化の高揚を図る」ことを設置目的として開館しました。以降、郷土ゆかりの美術をはじめ、国内外の近現代美術の名品たちを収集してきました。そんな所蔵作品の魅力をそれぞれの専門学芸員たちが紹介します。

会場：MONZEN QWELL ビル 2 階

参加費：無料

定員：各回 25 名

第 1 回：8 月 16 日（日）14:30～16:00（受付は 30 分前から）

「時空を超える美術—現代美術でコレクションの魅力再発見」

講師：米田晴子（当館学芸員） **※応募締切：8 月 2 日（日）**

第 2 回：9 月 12 日（土）14:30～16:00（受付は 30 分前から）

「姫路市立美術館のコレクションとベルギー」

講師：高瀬晴之（当館学芸員） **※応募締切：8 月 29 日（土）**

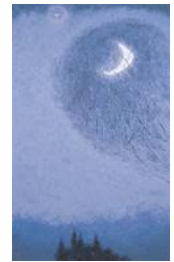
第 3 回：10 月 31 日（土）14:30～16:00（受付は 30 分前から）

「旅のベース—郷土ゆかりの美術コレクション 日本画編」

講師：吉中充代（当館学芸員） **※応募締切：10 月 17 日（土）**



エミール・クラウス《レイエ川の水飲み場》1897 年



池田達彦《弦月》1980 年

5. モネ没後 100 年調査研究プロジェクト記念講演会

クロード・モネの魅力 姫路市立美術館所蔵《ル・プティ=ジュヌヴィリエにて、日の入り》を中心に

2026 年はモネの没後 100 年にあたります。これを記念し、日本のモネ研究第一人者であり実践女子大学名誉教授の六人部昭典氏を講師に迎え、当館所蔵の作品を中心に巨匠モネの魅力に迫ります。

日時：9 月 27 日（日）14:00～15:30

会場：日本城郭研究センター 2 階大会議室

講師：六人部昭典氏（実践女子大学名誉教授）

参加費：無料

定員：80 名 **※応募締切：9 月 13 日（日）**



クロード・モネ《ル・プティ=ジュヌヴィリエにて、日の入り》
1874 年（國富奎三コレクション）



【講師紹介】

六人部昭典（実践女子大学名誉教授）

1953 年、京都府生まれ。大阪大学大学院芸術学専攻修了。実践女子大学などで、西洋近代美術史の教鞭をとる。現在、実践女子大学名誉教授。専門は近代フランス絵画、19 世紀芸術批評史。著書に『モネ—《睡蓮》への歩み—』（2001 年、六耀社）など。2025 年より姫路市立美術館國富奎三コレクション室学術顧問。

6. 公開アーカイヴ記録調査！

私と高田賢三の物語—思い出の服について語りませんか

姫路ゆかりの世界的ファッションデザイナー高田賢三が手掛けた服や小物をお持ちの方に、その品にまつわる思い出を語っていただく参加型プログラムです。購入した場所、着用した日のこと、お気に入りの柄やデザインなど、あなただけの物語をぜひお聞かせください。一人ひとりの記憶を聞き取り、記録することで、作品や資料だけでは残りにくい服との出会いや時代の空気を、未来へつないでいきます。

日時：10月25日（日）14：30～16：00（受付は30分前から）

会場：MONZEN QWELL ビル2階

講師：本橋弥生氏（京都工芸繊維大学准教授）、TSUTSU氏（クリエイティブ・ディレクター）
司会：谷口依子（当館学芸員）

参加費：無料

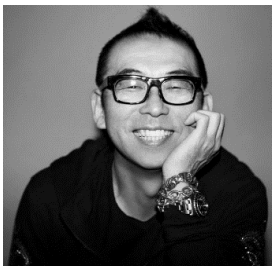
定員：20名 **※応募締切：10月11日（日）**



【講師紹介】

本橋弥生（京都工芸繊維大学准教授）

2003年の国立新美術館設立準備室の創設以降、2022年まで同館に研究員・主任研究員として勤務。2022年から2024年まで京都芸術大学芸術学部教授、2024年より京都工芸繊維大学デザイン・建築学系准教授。2025年より姫路市立美術館所蔵高田賢三コレクション学術顧問。



【講師紹介】

TSUTSU（クリエイティブ・ディレクター）

1978年、第43回装苑賞、第1回KENZO賞受賞。同年渡仏し、1993年までパリKENZO社のストゥディオ・ディレクターを務める。1993年から1999年、LVMHルイ・ヴィトン社KENZOブランドのアーティスティック・ディレクターを務める。2000年にKAIZOKU PARIS社を設立、自社ブランドTSUTSUを立ち上げる。2015年以降、TSUTSU STUDIO社のクリエイティブ・ディレクター、ブランディング・ディレクター、コンサルティング、アドヴァイザーを務める。2025年より姫路市立美術館所蔵高田賢三コレクション技術顧問。

庭園イベント

白亜の姫路城を背にした赤レンガの建物と緑の庭園、そしてその中にたたずむ数々の彫刻。美術館の庭園は、とても魅力的な場所です。姫路市民や姫路を訪れた観光客の方々が気軽に訪れることができる憩いの場として、休館中も庭園を開放しています。さらに今年はより開かれた場として、多くの方に参加していただけるイベントを開催します。

7. アンジェイ・ワイダ生誕 100 年記念企画

映画『灰とダイヤモンド』上映会

2024 年 11 月に姫路市立美術館はポーランドの日本美術・技術博物館マンガ（通称：マンガ館）と連携協定を結びました。今年は、マンガ館の創設者の一人でもあるポーランド映画の巨匠アンジェイ・ワイダ監督の生誕 100 年にあたります。これを記念して、ワイダの初期代表作『灰とダイヤモンド』（1958 年）を上映します。

日 時：9 月 22 日（火・振休） 18:30～（予定）
会 場：美術館庭園（雨天時は美術館講堂で開催）
参加費：無料
定 員：事前申込不要



灰とダイヤモンド（1958 年）105 分

©WFDiF / po Studiu Filmowym 'Zebra



【アンジェイ・ワイダ（1926-2016 年）】

ポーランドを代表する世界的映画監督。ポーランド北東部のスヴァウキに生まれる。16 歳で反ナチズム抵抗運動に参加。戦後、クラクフ美術大学で絵画を学んだ後、ウッチの国立映画大学に入学、演出を学ぶ。第 2 次世界大戦の過酷な体験を基に、祖国の歴史、人間の尊厳を描いた。ドイツ降服直後のポーランドを背景に、ロンドン亡命政府派の抵抗組織に属した一人の青年の物語を描いた『灰とダイヤモンド』は、ヴェネチア国際映画祭批評家連盟賞を受賞。『大理石の男』（1977 年）や『鉄の男』（1981 年）と並んで「抵抗三部作」と呼ばれ、ワイダの代表作として高く評価されている。

日本文化愛好家としても知られ、1987 年に受賞した京都賞（思想・芸術部門）の賞金を基に「京都・クラクフ基金」を設立、「クラクフ日本美術・技術センター」（現在の日本美術・技術博物館マンガ）開館の資金とした。

8. 姫路市立美術館友の会主催 秋のやさしい木かげじかん

秋の気配が美しい前庭で、色づく木々を眺めたり、芝生にござを敷いてごろごろしたり、音楽に耳を澄ませたり、ワークショップに参加したり。思い思いのひとときをお過ごしください。

日 時：10 月中旬、11 月中旬開催予定
会 場：美術館庭園（※雨天時は美術館講堂で縮小開催）
参加費：無料
定 員：事前申込不要

ワークショップ

子どもから大人まで幅広い世代の方が楽しめる、個性的なワークショップをご用意しました。作家が実際に作品制作に使っている素材を使ったり、展覧会でよく見かけるピクトサインを題材にしたり、日本画の模様を取り入れたり、ブックカバーをデザインしたりと、美術館ならではのワークショップで、表現者／デザイナーの視点を体験してみてください。

9. 姫路得とくゼミナール kids 2026 色ガラスで作るモザイクアート

主催：姫路商業まちづくり協議会・姫路市商店街連合会

当館所蔵作家である立花江津子氏のステインドグラス制作過程で出た色ガラス片を使ってオリジナル作品をつくります。

日 時：① 8月11日（火・祝） 14:00～15:00

② 8月13日（木） 14:00～15:00

場 所：まちづくりステーション「街の駅」（姫路市二階町 27）

TEL：079-287-3410

講 師：米田晴子（当館学芸員）

参加費：500円 対象：小学生以下（保護者同伴）

定 員：各回 10名 **※申込開始：7月23日（木）**



10. 素材を組み合わせてオリジナルブックカバーをデザインしよう

チラシやハギレなど様々な素材を組み合わせて、お気に入りの本をイメージしたオリジナルブックカバーをつくります。

日 時：8月26日（水） 13:00～14:30

場 所：姫路文学館北館 3階講堂

講 師：三枝万佑子（当館学芸員）

参加費：無料 対象：どなたでも

定 員：20名

※ワークショップ当日は本を一冊お持ちください。 ※申込締切：8月10日（月）

11. パネルを使って美術館・博物館の「アレ」をつくろう

展示室で実際に使われているピクトサインを観察し、デザインや意図について学んだ後、実際に自分でデザインしてオリジナルピクトをつくります。

日 時：10月3日（土） 13:00～14:30

会 場：姫路文学館北館 3階講堂、展示室

講 師：三枝万佑子（当館学芸員）

参加費：無料 ※別途、観覧料が必要となります

定 員：20名 対象：どなたでも

※申込締切：9月19日（土）



12. 和紙でつくるランプシェード

当館所蔵の日本画作品を紹介しながら、ランプシェードの模様を和紙でデザインするワークショップです。

日 時：11月3日（火・祝） 14:00～16:30

会 場：姫路文学館・望景亭

講 師：武田季子（当館学芸員）

参加費：400円 定 員：10名

対象：小学校高学年以上 **※申込締切：10月20日（火）**

姫路市立美術館 アウトリーチプログラムのお知らせ 広報用画像申込書

広報用に写真データをご用意しております。写真はデジタルデータをメールにて送信します。
別紙図版を参照してご希望の写真番号に○をつけ、下記にご記入の上 FAX にてお申込下さい。

図版データ・・・ 月 日までに必要

No.	キャプション	No.	キャプション
1	姫路市立美術館外観	2	第53代明珍家当主 明珍宗敬 ◎明珍本舗
3	兵庫県立歴史博物館外観（設計：丹下健三） 提供：兵庫県立歴史博物館	4	姫路文学館外観（設計：安藤忠雄） 提供：姫路文学館
5	内海敏夫 《2号国道消えた町並み》 1982年 姫路市立美術館蔵	6	エミール・クラウス 《レイエ川の水飲み場》 1897年 姫路市立美術館蔵
7	池田遙邨 《弦月》 1980年 姫路市立美術館蔵	8	クロード・モネ 《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》 1874年 姫路市立美術館蔵 國富奎三コレクション
9	講師：本橋弥生氏（京都工芸繊維大学准教授）	10	講師：TSUTSU氏（クリエイティブ・ディレクター）
11・12・13	© WFDiF / po Studiu Filmowym 'Zebra ※スチル写真とロゴは一緒に使うこと（ロゴはどのデータを使ってもよい）。 ※上記権利者表記を入れること。		

■画像ご使用に際してのお願い

- 作品写真の使用は、イベントをご紹介頂ける場合のみとさせていただきます。なお、イベント終了後は使用できませんのでご注意ください。
- 写真のご利用は1申請につき1回とし、使用後はデータを破棄してください。
- トリミングおよび文字や他のイメージを重ねることはできません。また、掲載にあたり、画像には上記の作家名、コピーライトの明記が必要です。
- 掲載内容について、会期、会場、作家名など基本情報の確認のため、お手数ですがゲラ刷りの段階で下記の問い合わせ先まで校正紙を FAX またはメールにてお送りください。
- インターネット等オンラインの媒体でご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用の上、掲載 URL をお知らせください。
- ご掲載いただいた場合、掲載紙・誌、またはテープ、DVD など各1部を当館宛にお送りください。

貴社名：	ご担当者名：
媒体名：	
掲載サイト URL:	
ご住所：〒	
Tel：	FAX：
E-mail：	
掲載・放送予定日：	

■お問い合わせ

姫路市立美術館 担当：米田、谷口（画像貸出担当）武田、福岡

Tel：079-222-2288/ Fax：079-222-2290/E-mail：gakugei@city.himeji.lg.jp

広報用画像サンプル表

<p>1</p> 	<p>2 まち歩き</p> <p><u>明珍鍛冶場で匠の技に触れよう</u></p> 	<p>3 まち歩き</p> <p><u>ミュージアム建築さんぽ</u></p> 
<p>4 まち歩き</p> <p><u>ミュージアム建築さんぽ</u></p> 	<p>5 まち歩き</p> <p><u>描かれた場所を訪れてみよう</u></p> 	<p>6 講座</p> <p><u>美術館、まちへ出る一 学芸員、コレクションへの愛を語る</u></p> 
<p>7 講座</p> <p><u>美術館、まちへ出る 一学芸員、コレクションへの愛を語る</u></p> 	<p>8 講座</p> <p><u>モネ没後 100 年調査研究プロジェクト記念講演会 クロード・モネの魅力</u></p> 	<p>9 講座</p> <p><u>公開アーカイヴ記録調査！ 私と高田賢三の物語 一思い出の服について語りませんか</u></p> 
<p>10 講座</p> <p><u>公開アーカイヴ記録調査！ 私と高田賢三の物語 一思い出の服について語りませんか</u></p> 	<p>11 庭園イベント</p> <p><u>アンジェイ・ワイダ生誕 100 年記念企画 映画『灰とダイヤモンド』上映会</u></p> 	<p>12 庭園イベント</p> <p><u>アンジェイ・ワイダ生誕 100 年記念企画 映画『灰とダイヤモンド』上映会</u></p> 
<p>13 庭園イベント</p> <p><u>アンジェイ・ワイダ生誕 100 年記念企画 映画『灰とダイヤモンド』上映会</u></p> 		